

地域連携の担い手「エリア世話人」

- 地域の独自性を生かし、人材発掘と人材交流を図る
- 他地域とのコラボレーションを深め、全県の体系につなげる

急性期、回復期、維持期、そして在宅への地域完結型「安心・安全な街づくり」が、身近なところで促進・加速されています。地域の医療・介護資源の機能分化と機能連携の国の施策もいよいよ具体性を帯び、「地域包括ケアシステム」構築のため、目まぐるしく医療・介護制度の改革が行われています。

「Nネット・ぐんま」の今後の組織活動も、その役割の一端を担うものであり、エリア世話人は、まさにネットワークづくりのキーパーソンです。

地域には風土、風習が育んだ独自の文化があり、豊富な人材があります。

各エリア世話人は、『勉強会や講演会の開催』、『医療機関・介護施設、地方自治体、企業の連携』、『医療職・介護職の多職種の親睦』などの役割を担い、新たな人材発掘、人材交流の輪を広げ、他の地域とのコラボレーションを深めます。

